

令和元年第3回岡崎市社会教育審議会会議録

日 時 令和元年 11 月 21 日（木） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分
会 場 市役所東庁舎 6 階 601 号室
出席委員 石 川 春 次 （元岡崎市立中学校長） 会長
野 田 光 宏 （元岡崎市立中学校長） 副会長
小 川 真奈美 （岡崎市小中学校校長会）
浅 井 博 人 （岡崎私立幼稚園協会会長）
近 藤 大 補 （岡崎市 P T A 連絡協議会顧問）
水 野 達 （岡崎市学区社会教育委員長連絡協議会会長）
市 川 賀 三 （岡崎市子ども会育成者連絡協議会顧問）
平 川 賢 次 （元公民館館長）
後 藤 尚 代 （女性代表）
葉 山 栄 子 （一般公募）
浅 岡 悦 子 （一般公募）
欠席委員 永 田 研 一 （岡崎保護区保護司会副会長）
事務局 社会教育課長 中村、副課長 柴田
社会教育係 大村、中村、福田

議 事 1 あいさつ

2 議題

(1) 【まとめ】子どもをとりまく社会教育環境について

(2) 今後の予定について

(1) 【まとめ】子どもをとりまく社会教育環境について

事務局：最終案の表紙の図について「地域社会の中での社会教育」「家庭教育を支援する社会教育」「学校と協働する社会教育」「健全育成のための社会教育」の四つのくくりが子どもを囲んでいるような図となっているが、「健全育成」は三つの中で行われているので全てにかかるのではという意見をいただいた。これについてはどうか。

委員：健全育成のための社会教育が冒頭に書かれているが、社会教育の目指す目的がわかりにくい中で、目標としていくことはいいのでは。他の「地域」「家庭」「学校」が協働、連携してその目標に向かって進むということを目指せば、「健全育成のための社会教育」は他の三つとは並列ではなくなる。

- 委員：図については、私が提案した。「健全育成のための社会教育」は、全体に係るというイメージをもっている。
- 委員：「健全育成のための社会教育」は、目指すものだと思う。図でも健全育成を全体が目指すものとしていったほうがいい。
- 委員：「健全育成のための社会教育」を三つが包括するという書き方もできるが、目指すものとするほうがよい。
- 委員：子どもの部分を「健全な子どもの育成」を目指すというように変更するのがいいのでは。また、子どもの文字を大きくしてはどうか。
- 事務局：「学校」、「地域」、「家庭」が上から順になっているが、文字の順番はこれでいいか。
- 委員：「健全な子どもの育成」を行うには、やはり家庭教育が一番重要、「家庭教育」を柱にして、次に「地域」、「学校」では。
- 委員：地域にも「健全な子どもの育成」の役割をと訴えるのが趣旨であれば、その順でいいのでは。
- 委員：子どもに一番近いのは「家庭」、今回の意見をまとめるにあたって、意図をもってするなら「家庭」、「地域」、「学校」の順番がよいかと思う。
- 委員：単に順番というよりは、子どもに一番近い存在が「家庭」、この後に、「学校」がきてしまうから地域の関わりがなおざりになってしまう。地域も子どもの健全育成に力を注いでもらいたいので意図をもって「地域」を2番目にしていきたい。
- 委員：学校でできることは限られているので、地域社会の中で子どもを育てていくことを訴えていくことが必要。
- 委員：子どもが人間として成長していくために、学校も教育ではなく育ちとしては関りをもっているが、やはり身近である家庭教育が重要。
- 委員：虐待の事例が多くなっている。家庭教育が重要としていくとプレッシャーとなってしまうのでは。
- 委員：この項目のタイトルが「家庭教育を支援する社会教育」となっている。この文言であれば、社会教育が支援するとなるので一番としてもよいのでは。
- 委員：学校については、「学校・園等」にしていただくと、園の立場としてはありがたい。
- 会長：まとめると「健全な子どもの育成」を目標にし、「家庭」、「地域」、「学校・園等」の順に変更する。その後の文章は、最初に「健全育成のための社会教育」とし全体を述べ、具体的に三つが行っていること、またそれに対する意見というように修正していく。最終確認は会長に一任いただくとしてよいか。
- 委員：異議なし。

(2) 今後の予定について

今後の諸行事の確認及び、社会教育委員の任期が終了することにより改選となり委員が交代となる。

- ・ 次回審議会は2月上旬に開催予定